

証券コード 5984

兼房株式会社

KANEFU S
A

第74期 株主・投資家の皆様へ

中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日



KANEFU S
SASH PRO-SW
8471-54042800
10-R33-10-0
Tmax 200rpm(FL150)



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに当社第74期上半期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）における営業の概況ならびに決算の内容等につきましてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年12月

代表取締役 社長執行役員

渡邊 将人

営業の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国・欧州・中国いずれの地域でも、ワクチン接種の進展による経済活動の段階的再開や景気対策の効果により回復の動きが鮮明になっているものの、東南アジアなど一部地域では、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響により経済活動に停滞がみられました。一方、わが国経済は、ワクチン接種が進み、経済活動への制約が徐々に薄らいできたものの、半導体不足やサプライチェーンの混乱解消が遅れ、製造業の生産計画が下方修正されるなど、景気への下押し圧力も強まる傾向にあります。引き続き、感染拡大防止と経済活動の活性化のバランスに配慮した社会行動が求められる、景気の回復も緩やかにとどまるものと思われます。

このような状況の下、当社グループは生産性の維持・向上、顧客への訪問やオンライン会議を活用し、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の販売拡大により前年同期を上回る結果となりました。

売上高

国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から増加しました。また、海外での売上も、米国およびアジア向けを中心に増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は94億9千万円（前年同期は74億6千4百万円）となりました。

利益

利益面につきましては、大幅な増収による売上原価率の改善と昨年に

引き続き経費節減に努めたことなどから、営業利益は7億1千8百万円（前年同期は2億3千9百万円の営業損失）、営業外収益として為替差益2千5百万円を計上したことから、経常利益は7億5千8百万円（前年同期は2億4千4百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億6千万円（前年同期は3億8千7百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

通期の見通し

通期の連結業績予想につきましては、連結売上高187億円、営業利益16億5千万円、経常利益16億8千万円、親会社株主に帰属する当期純利益11億円を見込んでおります。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

単位:千円

科目	期別	前期末
	当第2四半期末 2021年9月30日現在	2021年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	16,909,157	13,901,289
固定資産	13,587,200	13,616,752
資産合計	30,496,358	27,518,042
(負債の部)		
流動負債	3,805,433	3,045,442
固定負債	1,863,525	804,848
負債合計	5,668,959	3,850,290
(純資産の部)		
株主資本	24,030,628	23,553,639
その他の包括利益累計額	796,769	114,112
純資産合計	24,827,398	23,667,751
負債純資産合計	30,496,358	27,518,042

総資産

流動資産は169億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億7百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が21億6千5百万円増加し、受取手形及び売掛金が4億6百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は135億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千9百万円減少いたしました。これは投資その他の資産が1億6千4百万円増加したものの、有形固定資産が前連結会計年度末に比べ2億7百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は304億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億7千8百万円増加いたしました。

負債

流動負債は38億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億5千9百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が3億7千3百万円増加し、流動負債その他が1億9千7百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は18億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5千8百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が10億7百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は56億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億1千8百万円増加いたしました。

純資産

純資産合計は248億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億5千9百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が5億8千7百万円増加し、利益剰余金が4億7千7百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.4%（前連結会計年度末は86.0%）となりました。

連結損益計算書(要旨)

単位:千円

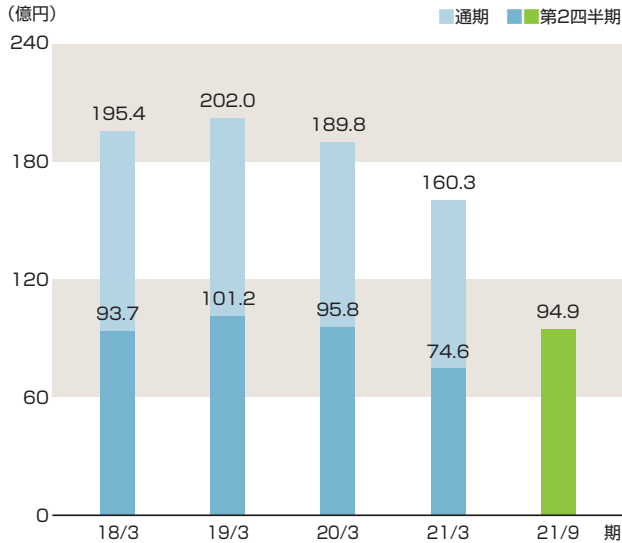
科目	期別	前第2四半期
	当第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで
売上高	9,490,841	7,464,992
売上原価	6,562,740	5,597,583
売上総利益	2,928,100	1,867,409
販売費及び一般管理費	2,209,799	2,107,042
営業利益又は営業損失(△)	718,301	△239,632
営業外収益	45,802	150,088
営業外費用	5,693	155,082
経常利益又は経常損失(△)	758,409	△244,626
特別利益	1,036	326
特別損失	799	2,131
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	758,646	△246,431
法人税等	198,230	141,027
四半期純利益又は四半期純損失(△)	560,416	△387,459
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	560,416	△387,459

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

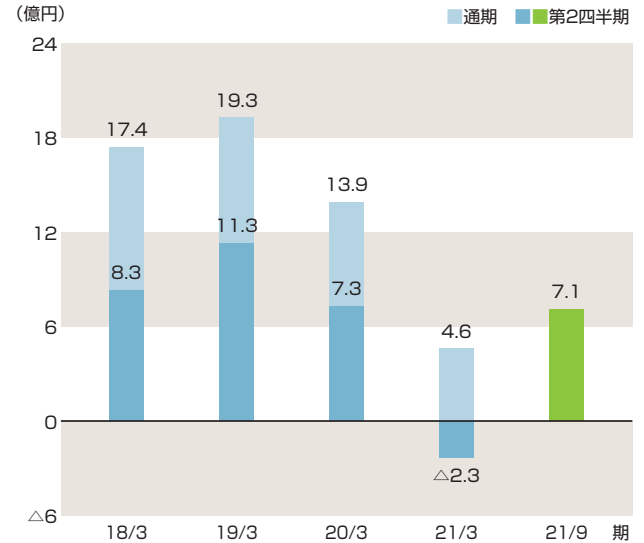
単位:千円

科目	期別	前第2四半期
	当第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,383,373	1,079,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	△229,424	△514,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	880,700	△155,342
現金及び現金同等物に係る換算差額	130,421	△29,214
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,165,071	380,558
現金及び現金同等物の期首残高	4,923,103	3,104,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,088,175	3,485,070

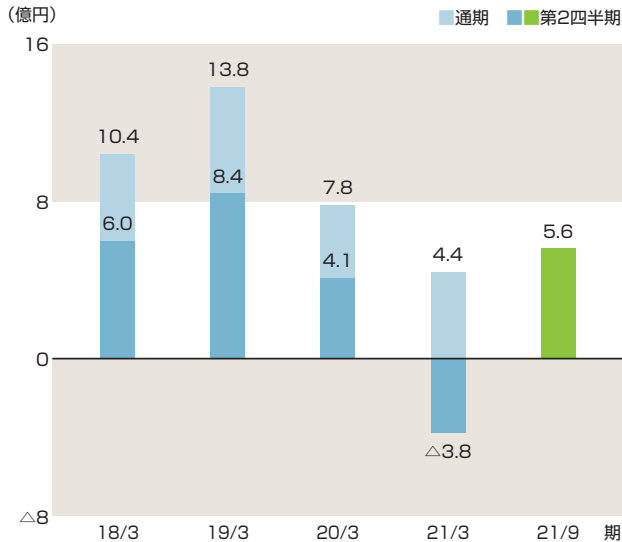
■売上高



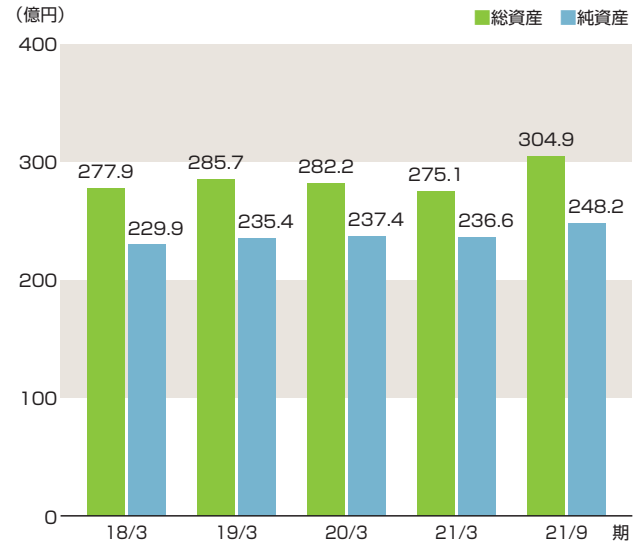
■営業利益又は営業損失 (△)



■親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)



■総資産・純資産



TOPICS

カーボンニュートラルに向けた取り組み

当社ではカーボンニュートラルを目指した活動を進めており、その一つとして、省電力プロジェクトを立ち上げ、省エネ効果が期待できる施策の導入に向けて検討を重ねています。

2021年10月には本社にてCO₂フリー電気を導入しました。CO₂フリー電気は水力発電等の再生可能エネルギーを電源としている環境に優しい電力です。現在はまだ社内使用電力の数%ですが、今後さらに増やしていきたいと考えています。



省電力プロジェクト 話し合いの様子



製品紹介

ダイヤコスモビットff (フォルテシモ)

家具や建材に使用される紙貼りのボードや、ドア材の金具取付部分の加工に使用される刃物です。従来の製品より刃先のねじれを大きくし、ボディ剛性を高めたことで、切削時の騒音が低減され、寿命も向上させることができました。また、切り屑を排出しやすくしたことで、加工時の切屑詰まりや焦げを低減します。



モニター試験結果

	加工内容	コスモビットff (New強リードタイプ) 評価
A社	紙・メラミン貼りパーティの外周微い加工 クロス合板溝加工	焼けが少なく切り屑の掃け良好。 切削騒音も小さい。
B社	クロス合板の貫通穴加工 紙シート+クロス合板の座繰り加工	合板のバリ除去作業が大幅に軽減。
C社	紙貼りパーティクルボードの 外周微い・くり抜き加工	バリ発生が小さく寿命1.5倍。
D社	ドア蝶番加工 紙・オレフィン貼りトライボード	耳障りな高い切削騒音が無くなった。 表面仕上がり品質は非常に満足している。



Information

会社概要 (2021年9月30日現在)

商号	兼房株式会社 KANEFUSA CORPORATION	
設立	1948年11月25日	
資本金	21億4,250万円	
本社所在地	愛知県丹羽郡大口町中小口一丁目1番地	
従業員数	743名	
主要な事業内容	工業用機械刃物・工具・工作機械・機械部品の製造販売。 ならびに、関連する事業に対する投融資及び技術供与。	
主要な事業所	本社・工場	愛知県丹羽郡大口町 支社 中部 関東 関西 営業所 札幌 仙台 広島 高松 福岡
子会社	PT.カネフサインドネシア カネフサヨーロッパB.V. カネフサインディア Pvt.Ltd. カネフサメキシコ S.A. DE C.V. カネフサベトナム マニファクチャリングCO.,LTD.	カネフサUSA,INC. 昆山兼房高科技刀具有限公司 カネフサ ドブラシル LTDA. カネフサベトナムCO.,LTD. 大口サービス株式会社

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役 社長執行役員	渡邊 将人	取締役 (監査等委員)	脇田 英剛
取締役 専務執行役員	太田 正志	社外取締役 (監査等委員)	小池 徹
取締役 常務執行役員	山川 寿康	社外取締役 (監査等委員)	山崎 裕司
取締役 常務執行役員	磯谷 岳摩		
取締役 常務執行役員	佐築 賢治		

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	14,310,000株
株主数	2,363名

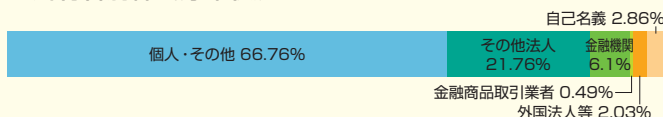
■大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
大口興産株式会社	2,299	16.5
渡邊 裕子	1,326	9.5
太田 万佐子	1,287	9.2
兼房従業員持株会	800	5.7
渡邊 浩	573	4.1
渡邊 美奈子	553	3.9
渡邊 将人	426	3.0
太田 正志	404	2.9
渡邊 久修	243	1.7
信太 万希子	243	1.7

(注) 持株比率は自己株式 (409千株) を控除して計算しております。

(注) 渡邊浩氏は2021年7月13日に逝去されておりますが、2021年9月30日現在、株式名義書換手続未了のため、株主名簿上の名義で記載しております。

■所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定基準日	(1) 定時株主総会・期末配当 3月31日 (2) 中間配当を実施する場合 9月30日 (3) その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を設定いたします。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〈電話〉0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.kanefusa.co.jp/koukoku.html>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行株式会社が口座管理機関となっておりますので、以下記載の特別口座の口座管理機関に、お問合せください。

特別口座の口座管理機関 日本証券代行株式会社
連絡先 〒168-8620
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843(通話料無料)

【株式に関する「マイナンバー制度」のご案内】

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

兼房株式会社

